

内山敏 うちやま としひま 評論家、翻譯家。明治四十二年六月九日福島縣生乳（一九〇九）。本名山内俊雄。別名山内敏雄。昭和七年東京帝國大學文學部哲學科卒。東京新聞社勤務、のち讀賣新聞社外報部編輯。

著書 『双頭の鷲は地に墜つーロシア革命史話』（昭和二十二年四月）

『十日蒼穹社』、『批判叢論現代知識階級論』（合著、昭和二十二年九月十日批判社）、『反戦作家群像』（昭和二十二年十一月二十五日同友社）、『知識人の探求ー新らしき立場と方向』（合著、昭和二十四年七月二十日河出書房）、『ヤナトオル・フランズ』（昭和二十五年十一月二十日日本評論社「新文化叢書」）、『現代文學十二講』（合著・舟木重信、除村吉太郎監修、昭和二十七年十一月五日富士出版社）、『フランズの知識人と政治』（昭和三十年七月十五日門脇書店「新書シリーズ」）、『歴史のつくりられる日（ロシア革命物語）』（昭和二十年十一月二十日）

『五百二二書房「三一新書」』、『フランズ現代史』（昭和二十二年十一月十七日岩波書店「岩波新書」）、『記録文學への招待』（合著・杉浦明平、村上一郎編、昭和二十八年四月二十五日南北社）、『思ひ出の本』（合著、昭和五十九年十月十五日出版ニエース社）等。

譯書 『エルンスト・トルラー著「獄中からの手紙」』（昭和十一年五月二十日文芸書店）、『パール・バック作「愛國者」』（昭和十四年五月二十日改造社）、『コーネリヤ・スペンサー作「支那の二姐妹」』（内題「支那の二姐妹」昭和十四年七月十九日改造社）、『ニエシロ



ヴァイツチ・ダンチエンコ著『モモスクワ藝術座の回想』(昭和十四年十一月四日テアトロ社)、ロパデレナスキ自傳『(昭和十五年四月二十日河出書房)、シヤリヤピン自傳『人間と假面』(久保和彦共譯、昭和十五年十一月二十日報國社)、J・G・フレッチャ著『アマメリカとロシアの心理分析(歴史地理學の一研究)』(昭和十七年四月二十日萬里閣)、シヤンクス著『アナトオル・フレンス傳』(昭和十八年八月十五日梁塵社)、H・A・オーザラストリート著『人間の成長のたのしみー原子時代の世界觀』(昭和二十五年九月二十日新人社『生活指針叢書』)、ジヤン・デーノ著『深夜の日記』(編、昭和二十六年十一月十日(二)書房)、バーナード・ペャズ著『ロシアー過去と現在』全二冊(上・昭和二十七年二月十日、下・五月十日岩波書店『岩波新書』)、A・ロスシユタイン著『平和的共存』(昭和二十九年十一月十日岩波書店『時代の窓』)、シモース・ド・ボーヴォワール著『長い歩みー中国の発見』全二冊(大岡信共訳、上巻・昭和二十四年八月五日、下巻・二十日岩波書店)、H・マウ他著『ナチス時代のドイツ現代史』(昭和二十六年六月二十四日岩波書店『岩波新書』)、W・G・ブーチエット著『60年代のソ連』全二冊(上・昭和二十七年四月二十日、下・六月二十日岩波書店『岩波新書』)、バズル・デヴィドソン著『ロシアリカ史案内』(昭和二十九年八月二十日岩波書店『岩波新書』)、ジョン・ガンサー著『都市の内幕』(昭和四十四年十一月二十日タイムライフインターナショナル『タイムライフブックス』)、コーリン・ウイルソン『ラースプーチン』(昭和四十五年二月十五日読売新聞社)等。